

福岡県移住者子弟留学生 第3回報告書（12月）

テーマ

「勉強のこと」

私が研究したかったのは、写真とファッションの関係でしたが、残念ながら大学にはありませんでした。でも、写真の勉強を始めたら日本での写真の活用を習うことができ、とても楽しかったです。

最初は私が望んでいたファッション写真が出来なくて、少し寂しい思いをしましたが、授業を受けていると、クラスはブラジルと違った雰囲気面白かったです。コロナウイルスのため青空教室があり、そこで先生から写真の撮り方の説明を聞きながら写真を撮りました。その後、クラスに戻り、撮った写真を先生に提出してそこで先生は写真の技術的理論を教えてくださいました。それから文書編集のための InDesign というコンピュータプログラムを初めて使いました。これは私の第一日目のクラスでした。

大学での写真の勉強は幅広く、専門分野の写真、雑誌用の写真、コマースの写真、営業写真などなど、とても豊富で心が躍りました。

前期には新しいコンピュータプログラムを使用して写真の編集、ポトフォーリオ作成と自己紹介のポスターを習いました。これらの授業は私にとって新しい事でしたのでとても興味深く楽しかったです。授業を受けていくにつれて一人で出来るようになりました。青空教室やスタジオでの教室ではライティング技術やポートレート写真の技術を習いました。

夏休みが終わって、大学の授業が戻り、ストックフォトという授業を受けました。ストックフォトとは画像や写真を提供するサービスのことで、作成された画像や写真が販売されています。もう一つの授業では、自分でコンセプトとデザインを考え、雑誌の表紙、居酒屋のリーフレット、インタビューやクリスマスポスターを作りました。

私の卒業制作のテーマを決めるのはとっても難しかったです。担当の先生と相談して、彼が私のルーツを調べたらどうですかと提案してくれました。それで私のルーツをテーマにして作成を始めました。そのため私のルーツがある浮羽町へ月に2回写真を撮りに行きました。撮った写

真はテーマにもとづいて先生と一番良いものを選びました。審査のため、テーマの小論文を書きました。小論文を書くため、色々な検索をして、ポルトガル語で書いた後で翻訳をしました。最初の中間審査は11月13日に行われました。とっても緊張しましたが、写真は良い評価をもらいました。

11月の半ばに写真の最終選択がありました。それから写真の編集を始めました。写真を同じレベルに達成するのはとても難しかったです。そのレベルとは、色、コントラスト、トーン、シャープネス、色相などなど。先生の指導のもとで編集が出来ました。編集は3週間かかりました。編集が終わると写真をプリントアウトして展示のための準備に入りました。写真を切ったり、写真を張り付けるプレートを切ったりしました。最終審査は12月24日に行われました。この時に、審査員たちは写真の展示の順序を決めました。来年の2月に卒業制作の展示が行われます。楽しみにしています。

これが私がこの一年を通して大学で勉強したことです。

在ポリビア福岡県人会
宮園 豊光

九州産業大学
芸術学部

私は今年の県費留学生として九州産業大学で写真と映像メディアを勉強しています。

ほとんど毎日自転車で大学まで行きます。約 15 分かかります。

私の日本語は余り上手じゃないので、実践的な科目だけを選ぶことにしました。

当初は Mac システムパソコンである上、日本語での操作なので、学校で使うのはとても大変でした。

私はこれまで Mac を使ったことがありませんでしたが、時間の経過とともにコンピューターの使い方を学びました。

写真撮影の授業では、財布、服、お菓子やおやつなどの様々なものを写真に撮らなければなりませんでした。

プロの写真照明、写真スタジオツール、背景などの使い方も学びました。

私が選んだクラスでは、英語やスペイン語を話す人は誰もいませんでしたが、観察することで、何をすれば良いのか見習って、なんとか授業の課題を仕上げる事ができました。ポートレート写真を撮らなければならない時、何度かクラスメートのため、モデルになりました。

同じ言語を話さなくても、モデルになり、写真家と繋がることで沢山学んでとても楽しめました。

卒業プロジェクトの授業では、私の日本での生活と日本文化に関する事を作品プロジェクトとしています。私のテーマは「福岡での生活経験を通してのラテンアメリカ人への日本文化の紹介」です。ここでは、おみやげ文化、美食体験、日本のマナーなどを紹介するビデオをいくつか作成しました。先生やクラスメートの前で動画を展示し、私の YouTube チャンネルも皆に共有しました。

いくつかの授業は ZOOM を通じて、オンラインで参加しています。そのうちの 1 人はスナップ写真の練習をして、被写体は自由でした。

私のプロジェクトは秋に触発され、このテーマに関連する写真を 10 枚撮りました。それらは同じカラーパレットを共有し、「秋の女の子」のタイトルを反映しています。このプロジェクトでは、手放す事の美しさについて、秋が私たちに残す教訓を示したかったのです。

研究プロジェクトとは別に、大学では留学生の為に日本語を教える授業はありますが、その授業を探した頃は、既に始まっており、受ける事が出来ませんでした。その授業に参加出来ませんでしたけど、週一回の休み時間に日本語を教えて下さる先生と巡り合うことが出来ました。一人で勉強している残りの週の疑問を先生が丁寧に解消してくれるので、この授業は本当に楽しいです。

私は 1 冊の日本語の本を完成させて、以前、日本に到着したときよりも多くの日本語を理解していると感じています。

アナログ撮影の授業では、古いカメラや暗室でのアナログ現像の過程について学びました。知らなかったことで、これまでにした事がなかったのでもっと難しかったです。クラスメートの助けを借りて出来るようになりました。

After Effects の授業は、テキストやデザインをアニメーション化し、アニメーションやモーショングラフィックスで 3D を使用する方法を学びました。

論文プロジェクトのクラスメートが会議を開き、私も一緒に参加させてもらい、とても嬉しかったです。彼らのことをもっと知ることができて、コミュニケーションを取ることもできました。彼らは私に会ってからボリビアをもっと知りたいと興味をもってくれました。

先生とクラスメートはとても親切で優しく手伝ってくれます。

様々な事を教えてくれる良い人達と出会いました。

また、大学のプロジェクトで作成した動画を私の YouTube チャンネルで共有し、日本の素晴らしい文化をみんなに紹介して、県人会の若者た

ちに福岡を知ってもらい、興味を持って頂いて、県費留学生に繋がるきっかけになれば幸いと心掛けて頑張っています。